

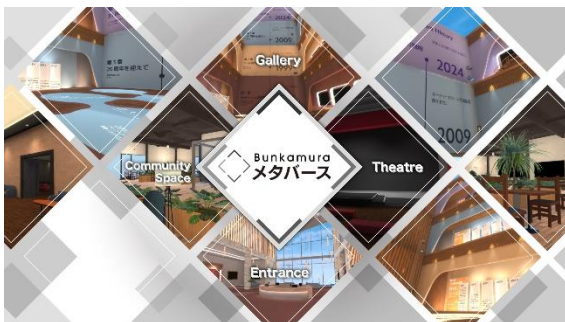
株式会社東急文化村
株式会社 NTT ArtTechnology
大日本印刷株式会社

バーチャル空間上の文化・芸術の発信拠点として「Bunkamura メタバース」をオープン — Bunkamura35周年を記念してオペラ公演の貴重なポスター・写真・映像等を公開 —

株式会社東急文化村（代表取締役社長：嶋田創、以下：Bunkamura）と株式会社 NTT ArtTechnology（代表取締役社長：国枝学、以下：NTT ArtTechnology）と大日本印刷株式会社（代表取締役社長：北島義斉、以下：DNP）は、メタバース空間での文化・芸術の“新しい鑑賞”を体感できる発信拠点として「Bunkamura メタバース」を開発・構築し、2024年2月15日（木）に公開します。

その第一弾企画として、Bunkamura が開催してきたオペラ公演をポスターや写真・映像で振り返る企画展、Bunkamura 35周年企画ポスター展「Bunkamura オペラの軌跡～これまで、そしてこれから～」を開催します。また同企画内では、2024年2月上演の「ORCHARD PRODUCE 2024 鈴木優人&バッハ・コレギウム・ジャパン×千住博 モーツァルト：オペラ《魔笛》（新制作・全幕上演）」^{*1}の魅力に迫る、特別展示も行います。

- ポスター展開催期間 2024年2月15日（木）～3月31日（日）予定
- ポスター展会場 Bunkamura メタバース Gallery（2月15日（木）より公開）
- Bunkamura メタバース特設ページ <https://www.bunkamura.co.jp/sp/metaverse/>



Bunkamura メタバース キービジュアル



ギャラリー内 Bunkamura 35周年企画ポスター展
「Bunkamura オペラの軌跡～これまで、そしてこれから～」の展示

【「Bunkamura メタバース」の背景と概要】

Bunkamura は 1989 年にオープンし、門外不出だったパイロイト音楽祭の引っ越し公演を Bunkamura オーチャードホールで上演しました。以来、世界最高峰・最先端のオペラを招聘して日本にいち早く紹介するとともに、自主制作の作品による「Bunkamura オペラ劇場」を立ち上げて、日本から世界に発信してきました。また、オペラ以外にも音楽・演劇・展覧会・映画など幅広く文化芸術の制作・普及を進めてきました。2023年4月10日以降は、東急百貨店本店（東京都渋谷区）の再開発にともない、日曜・祝日を中心に営業中のオーチャードホール以外は、文化施設としての Bunkamura は休館しています。

こうした状況の中で今回、オンラインの取り組みの一つとして、仮想空間上での文化芸術の制作・発信を通じて、国内外の人々に広く文化芸術を楽しんでいただくことを目的に、「Bunkamura メタバース」を開発します。Bunkamura の歴史とこれからを象徴する場所として、利用者は時間や場所の制約を受けることなく、メタバース空間で多様な文化芸術に触れることができます。またファン同士のコミュニケーションの活性化につなげていくことを目指します。

【「Bunkamura メタバース」の特長】

Bunkamura メタバースでは、Bunkamura が培ってきた音楽、演劇をはじめとした様々な文化芸術の創造と制作ノウハウ、NTT ArtTechnology のリアル・バーチャル上での新しい文化芸術体験を開発するノウハウ、DNP が国内外の美術館や博物館との協働により開発してきた鑑賞システムの構築ノウハウの相乗効果により、メタバース空間で新しい美術鑑賞や企画展を開催し、ファン同士のコミュニケーションを促します。

1. メタバース空間でのイマーシブな（没入感のある）鑑賞体験を提供

Bunkamura メタバースでは国内外における様々な文化芸術の世界観を体感でき、作品関係者やそのファン同士のコミュニケーション機会の創出を実現します。

また、エントランス、ギャラリー、コミュニティスペース、シアターといった"空間アセット"を組み合わせることで、自由度の高い展示空間、コミュニケーション空間の構築を実現し、今後様々な展示、イベントなどを開催いたします。

2. 各作品と多様な情報との関係を直感的に鑑賞できる独自の展示空間を展開

Bunkamura メタバースでは、DNP が開発した「DNP コンテンツインタラクティブシステム みどころギャラリー XR（Extended Reality）型」*2を採用し、利用者に“新しい鑑賞体験”を提供します。三次元空間で時間軸に沿った年表等により作品の配置や作品同士の関係性を可視化するなど、利用者が直感的に理解を深めて楽しめるような、独自性の高い空間を提供します。

3. Web ブラウザーで簡単に体験可能でき、リアルとバーチャルの連動も可能

専用のアプリ等をインストールすることなく、パソコンやスマートフォン等の Web ブラウザーでアクセスできます。外部の Web サイトへのリンクに加え、メタバース内でのライブ配信やアバターによるガイドツアーなどによりリアルイベントと連動させ、各種リアル展示の関連情報に誘導することも容易に行えます。



エントランス



ギャラリー



コミュニティスペース



シアター

空間アセット



作品の関係性を空間全体で表現

【Bunkamura 35 周年企画ポスター展「Bunkamura オペラの軌跡～これまで、そしてこれから～」のポイント】

1. Bunkamura 主催オペラ公演の貴重なポスター・写真・映像資料の展示

Bunkamura のこけら落とし公演となったバイロイト音楽祭の引越し公演「タンホイザー」のほか、世界最先端のオペラを日本から世界に発信した「Bunkamura オペラ劇場」シリーズ、海外歌劇場の来日公演、近年実施した演奏会形式の公演のポスター・関連資料を通してこれまでの Bunkamura オペラの軌跡を紹介します。

- ・1989 年、1991 年、1992 年：Bunkamura オペラ劇場「魔笛（まほうのふえ）」
- ・1995 年、1996 年、1997 年：Bunkamura オペラ劇場「マダム・バタフライ」
- ・1999 年、2000 年、2001 年：Bunkamura オペラ劇場「トゥーランドット」
- ・2005 年：ベルギー王立歌劇場来日公演「ドン・ジョヴァンニ」
- ・2022 年：「東急グループ創立 100 周年記念企画オーチャードホール×假屋崎省吾ヴェルディ：オペラ《椿姫》～Bunkamura シアター・オペラ・コンチエルタンテ 2022～」、ほか多数。

2. Bunkamura35周年記念公演「ORCHARD PRODUCE 2024 鈴木優人&バツハ・コレgium・ジャパン×千住博 モーツァルト：オペラ《魔笛》（新制作・全幕上演）」特別展示

新制作オペラ《魔笛》公演の魅力に迫るメタバース限定のコンテンツです。現代の世界最高峰クリエイター陣と国内外で活躍する出演者のコメントや、高橋悠介氏（CFCL クリエイティブディレクター）が手掛ける本作の衣装展示など、「ここでしか見られない」公演の魅力が詰まった特別空間です。主な展示内容は、「出演者コメント」「衣装写真展示」「クリエイティブスタッフによる一問一答」ほか。

また、2月23日（金・祝）に開催する《魔笛》特別イベント「オペラ・作り方のひみつ～未来のオペラを想像する」との連動企画も実施予定です。

【各社の役割】

- Bunkamura 展示企画・キュレーション、「魔笛」特別イベント連動企画実施
- NTT ArtTechnology 企画構想・プロデュース
- DNP プラットフォームの提供・運用、メタバース空間の制作、みどころギャラリー XR型の提供

【今後の展開】

今回の取り組み結果を踏まえ、今後は、Bunkamura主催の企画展のほか、国内外の美術館とのコラボレーション展示や教育プログラムを検討します。

■ Bunkamura メタバースの推奨動作環境

* パソコン、スマートフォンの両方で利用できます。Wi-fiでの利用を推奨。

【パソコン】

- ・ブラウザ：Chrome（最新版） ・メモリ：8G以上
- ・Windows OS：Windows 10 64bit / Mac OS：10.15 Catalina以降

【スマートフォン】

- ・iOS：iOS15以降（iPhoneX以降）、Safari / Android：10.0以降、Chrome
- ※推奨環境でも、端末や通信環境によって、動作や表示が正しく行われない場合があります。

* 1 ORCHARD PRODUCE 2024 鈴木優人&バツハ・コレgium・ジャパン×千住博 モーツァルト：オペラ《魔笛（新制作・全幕上演）》
https://www.bunkamura.co.jp/orchard/lineup/24_diezauberflote/

* 2 「DNP コンテンツインタラクティブシステム みどころギャラリー XR型」
https://www.dnp.co.jp/biz/solution/products/detail/20171378_1567.html

※記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。

※記載された製品の仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ